



開館10周年・合併5周年記念 企画展
青木コレクション展 —青木藤作と徳富蘇峰—

青木藤作（1870～1946）に大きな影響を与えた人物として、徳富蘇峰（1863～1957）

が知られています。徳富蘇峰は肥後国（熊本県）に生まれ、熊本洋学校でキリスト教をとおしてヨーロッパの思想に関心を寄せます。上京後は勝海舟宅に逗留して民権論に傾倒し、明治19年（1886）に刊行した『将来之日本』がベストセラーとなり、その名を広く知られるようになりました。

明治20年（1887）に徳富蘇峰が設立した民友社から創刊された『国民之友』を読んだ青木藤作は深い感銘を覚え、蘇峰を訪ねます。以後、生涯にわたり交誼を結んだ徳富蘇峰から当時の文化人や芸術家を紹介されたことでさまざまな美術品を収集し、それらが青木コレクションの中核を形成しました。

川村清雄（1852～1934）の作品も蘇峰の影響を受けて収集したと考えられます。川村清雄は欧米で油彩画を学び、帰国後は油彩で日本の伝統的な画題を描きました。図の「祝詞」は絹に銀箔

を施し、水際に座る神主と巫女が昇る朝日に向かって祝詞を読む場面を描いています。水面と空には銀地が残り、水平線は色の層をなして日の出の時間を想起させます。藤作が初めて清雄を訪ねたのは昭和5年（1930）のことで、清雄が亡くなるまでの短い期間に深い信頼関係を築きました。

今回の企画展では、徳富蘇峰と川村清雄の作品を中心に藤作が収集した美術品を紹介いたします。作品をとおして藤作の幅広い交流や芸術への関わりなど、その人柄を感じていただければ幸いです。

馬頭広重美術館 学芸員 塩野目育枝

- 【会 期】 4月17日（日）まで
- 【開館時間】 午前9時30分～午後5時まで
（但し入館は午後4時30分まで）
- 【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日
- 【入 館 料】 大 人 500円（450円）
高・大学生 300円（270円）

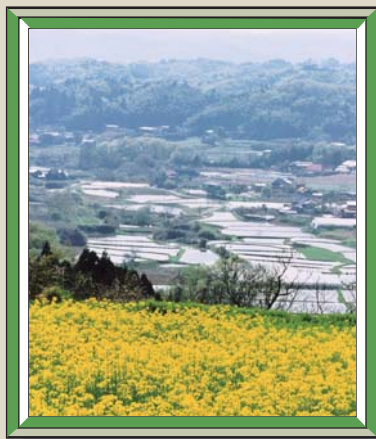
※（ ）は20名以上の団体料金
※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料
※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額



川村清雄「祝詞」当館蔵

“栃木県の美しく豊かな田園風景”を百年後の後世にも継承していくための「とちぎのふるさと田園風景百選」に当町の和見、松野、片平地区の風景が選ばれました。今月は和見地区の写真を掲載します。

和見地区「山紫水明」
撮影者 益子勝行さん（大山田下郷）



和見地区「水月の景」
撮影者 岡典子さん（北向田）